

# 2 がっひかりごう

令和4年2月1日 輝保育園

2022年がスタートしてはや1ヵ月。新型コロナウイルスのニュースを見ない日は無く、引き続き警戒をしながらの日々がしばらく続きそうです。そんな状況の中でも日々成長を見せる子どもたちの姿がとても頼もしく感じられます。今月は発表会があり、皆で目標に向かって取り組んでいます。一つのものを作り上げる楽しさや達成感、必ず、進級や入学に向けての自信に繋がる事でしょう。



## 【生活発表会】

日時 2月5日(土曜日)

開始時間 9:00

- 2才から5才が参加。

(0才と1才は、通常の土曜保育です。)

- 観覧は、1家庭に大人2人までです。

当日は、頑張っている子ども達に温かい拍手をお願いします。

## ★ 節分 ★

節分とは、読んで字のごとく、「季節を分ける」という意味です。

季節の変わり目には、邪気が入り込むと昔の人は考えたため、

それを追い払う行事を行いました。

昔の人は、「豆 = 穀物」は、生命力と魔除けの力を持っていると考えていました。



## = 2月の行事予定 =

- 3日(木) 節分
- 5日(土) 生活発表会  
(2才以上のクラス)
- 8日(火) 避難訓練
- 25日(金) 身体測定・誕生会

## === ナース・レポート ===

### 【新型コロナ なぜオミクロン株は 広がりやすいのか?】

日本国内における新型コロナの流行「第6波」においてもオミクロン株が主流になっています。

オミクロン株はデルタ株よりもさらに感染力が強いと言われています。

その理由として、

- ・ 上気道で増殖しやすい(鼻水やのどの痛みが多い)
- ・ 潜伏期間が短い
- ・ ワクチンや過去の感染による免疫から逃れやすい

潜伏期間が従来株では約5日とされていましたが、オミクロン株では平均潜伏期間は3.6日であったと報告されており、従来の新型コロナウイルスよりも潜伏期が約2日短くなっている、ということになります。

感染者が同じ人数に感染させることを前提とした場合、潜伏期が短い方が感染者の増加するスピードが速くなります。

(感染症専門医 忽那賢志医師  
1/19 Yahoo 記事より抜粋)

オミクロン株に対しても感染対策の原則は変わらず、接触・飛沫・エアロゾルの3つの感染経路を意識した感染対策が重要です。

今まで通りの基本的な感染対策を、これまでに以上に丁寧にしっかりと行うようにし、体調不良の時は医師の診察を受けましょう。

医療機関の受診方法(診療・検査医療機関リスト)や相談窓口は福岡県のホームページに記載されています。

## 《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

## ☆☆ 親離れ・子離れ ☆☆

### ～ 依存と自立～

ちょっと前まで、親が手を貸さないともできない、幼い子どもだったはずなのに、いつの間にか、「こんなこともできるようになったんだ」、「こんなことを考えるようになったんだ」と驚かされたことはありませんか。

子どもの成長は早いものです。

子どもの健やかな成長、自立を願わない親はいないはず。

### ● 依存から自立へ

「自立」とは、他の助けや支配なしに自分一人の力だけで物事を行うこと、「依存」とは、他に頼って存在、生活することといわれます。







一見反対語のように捉えられますが、対立するものではなく、お互いが密接に関係しているものです。

心理的に自立している子どもは、親から厳しく育てられて自立したわけではなく、放任によって育てられたから自立したのでもありません。

成長する過程において、親への依存を体験し、親からの愛情をしっかりと確信できるからこそ、自立へのステップを歩むことができるといわれています。

子どもを自立した大人に育てていくために、依存することを十分、体験させ、親子の信頼関係を築くことが、とても大切です。

「教育力向上福岡県民運動  
ホームページ」より抜粋

たんぽぽぐみ 0才児	 <p>0才児クラスで過ごすのも残り2ヵ月となりました。初めの頃と比べると色々なことができるようになりました。ハイハイや座って遊んでいたお友だちが、今では、ほぼ皆歩けるようになり、走り回り戸外で遊ぶことが大好きになりました。食事中も「早く食べたいよ」と声を上げて待っていた子がスプーンですくって食べてみようとしてみたり、「おかわりちょうだい」とお皿やスプーンを渡す姿があります。着替えを行う際にも自分で自らの靴を持って来てチャックを開け、「これにする」と衣服を手にとってみたり、ズボンを履いてみようとして片足を入れてみたり、様々な成長が見られます。もちろん上手いかないこともたくさんで悔しくて声を出し涙が出ることもあります。保育士やお友だちとの関わりを通して心も立派に育っています。</p>
たんぽぽぐみ 1才児	 <p>幼児室から発表会の合奏の練習の音が聞こえてくると、「太鼓!」と嬉しそうに言っています。太鼓は見に行っても見ませんが、劇の練習を見に行くと、きちんと座って少し前のめりになって見えています。とても楽しい時間になったようです。戸外遊びでは、今年度初めて、運動場に遊びに行きました。最初は、初めての場所に戸惑いの表情をする子もいましたが、保育者がそばに付き、一緒に砂遊びをしていると、少しずつ遊び始めます。しばらくすると、固定遊具やスケーターや三輪車にも興味を持ち、やってみようとする姿も見られました。給食の時間になり、「お部屋に帰ろう」と誘うと、「いやだ」と言ったり、「まだ遊びたい」と泣いたり大騒ぎでした。「また遊びに来ようね」と話をし何とか入室しました。今月は、じっくり運動場で遊ぶ時間も設けたいと考えています。</p>
すみれぐみ 2才児	 <p>冷たい風にも負けず、元気に走り回っている子ども達です。今、発表会に向けて練習を頑張っています。「早くしたい!」、「もう一回したい!」と楽しみながら練習に参加している子どもたちです。大好きな絵本の世界を、体を使い表現したり、普段の活動の中で行っていることを披露します。発表会当日に、大好きな家族に見てもらおうことを楽しみに頑張っています。恥ずかしい気持ちを抱えながらも、ステージに立つこと。そして、保育士や友だちと一緒に楽しむことを目標に取り組んでいます。当日は、いつもとは違う雰囲気、戸惑う姿が見られるかもしれませんが、しかし、恥ずかしい気持ち、不安な気持ちなど、色々なことを乗り越え、頑張る子ども達の姿に、心の成長を感じてもらいたいと思います。温かいご声援、よろしくをお願いします。</p>
ちゅうりっぷぐみ 3才児	 <p>発表会を控え、「パパやママは来る?」、「ドキドキするけど泣かないよ!」など、おうちの方に観てもらおう事を楽しみに頑張っています。さて、年少児期の課題である「お箸の習得」を目指し、約1年を通してご家庭と協力しながら取り組んできました。今年度の習得率は例年に比べ緩やかな状況でしたが、11月頃から急激に伸び始め、今では約8割の子ども達が習得しています。「こうだよ!」と中指と人差し指、親指を使って上のお箸のみを動かし、薬指と親指の付け根で下のお箸を支えるという大事な2点を認識し行動に移したり、「これもつまめるよ!」と小さな食材を箸先でつまんだり、上達していく手応えを子ども達自身が感じ取りとても嬉しそうです。積み上げた力を自ら発揮し、技術を向上させていくというとても良い循環ができています。</p>
ばらぐみ 4才児	 <p>縄跳びに挑戦する姿が増えています。友達より多く跳べるようになりたいと練習を重ねる子が多い中、一人の子が跳べなくて苦戦していました。その子に気付いたBちゃんは、ゆっくり跳びながら手本を見せています。タイミングを言葉で伝えたりしながら何度も繰り返し挑戦します。数分後、縄が足の後ろに通りました。その瞬間歓声があがります。「おめでとう!」と友達の成功を喜びました。「前跳び、後ろ跳び、あや跳び」などの一人跳びに加え、「二人跳びや郵便屋さん」をする姿も見られ、友達と活動する楽しさを感じながら過ごしています。4才児期では、共通の体験を通して仲間意識が芽生え、相手の立場になって考えたり教えたりすることが出来るようになります。遊びの中で、人間関係を深め、思いやりの心が育むよう、願っています。</p>
ひまわりぐみ 5才児	 <p>生活発表会へ向け、意欲的に取り組んでいます。劇遊びではより役になるために台詞の言い方や動きを考えました。自分の役だけでなく友だちの役を考え、意見を出し合ったり、みんなで考えることができました。また、合奏・遊戯では上手くできずに泣き出す子がいました。すると、みんなが集まってきて、頭をなでたり「大丈夫」、「できてよ」と励ましてくれたおかげで、すぐに泣き止むことができました。互いに励まし合ったり、認め合ったりすることが自信に繋がっています。いざ、ステージに立つと恥ずかしそうにする姿も見られますが、発表会ではみんなで心を一つに、やり遂げた達成感を感じられるよう願っています。これからは就学に向け、早寝早起き、挨拶、食事のマナー、持ち物の始末など身の回りのことを、見通しをもってできるようにしていきます。</p>